

「交通安全・防犯部門」地域づくり課(235)4789
「消防・防災部門」警防課(231)0921



「子どもたちに安全安心を」をテーマに、親子で楽しめる各種防災体験コーナーのほか、車両の展示なども行います。クイズに正解すると顔写真付き「子ども安全免許証」をプレゼント。ぜひお越しください。

10月6日(土) 10時～16時
〔荒天中止〕扇町海老名駅西口中心広場ほか他会場に駐車場はありません。徒歩または公共交通機関をご利用ください。



会場	内容
特設ステージ	交通安全・防犯功労者、交通安全・防犯・防火ポスター入賞者、交通安全・防犯標語入賞者の表彰式、神奈川県警察音楽隊カラーガード演技、フラ演技など
海老名駅西口中心広場	特設ステージ、交通安全・防犯コーナー、飲酒ゴーグル体験、お絵かきせんべい、飲食店コーナー、防災体験プログラムなど
海老名駅西口プロムナード	子ども安全免許証、自衛官PRコーナー、ミニサバイバルキャンプなどの防災体験プログラム、工作教室など
エビーロード	はしご車乗車体験 ^(※) 、ミニ消防車タクマ号乗車体験、シートベルトコンビンサー体験、ゆとり号体験、起震車(新型)体験、ポニー乗馬体験、先進安全車両展示、先進安全車両自動ブレーキ体験、消防車両展示、防災用品展示など
海老名駅西口自由通路	「交通安全・防犯・防火ポスター」「交通安全・防犯標語」入賞作品展を開催(10月1日(月)～6日(土))

※はしご車の乗車体験は1人で乗車できる中学生以下のお子さんが対象です。当日、乗車の抽選を行います。
▶定員 各回20人程度 ▶抽選時間 ①10時から ②11時30分から ③13時30分から ④15時から



イベントの開催に伴い、当日9時～17時に、市道の一部を車両通行止めとします。会場周辺を通行する際は、誘導員などの指示に従ってください。ご理解とご協力をお願いします。

家庭系ごみ減量化に向けて パブリックコメントと住民説明会の主な意見

環境課 ☎(235)4922

市は、6月に環境審議会より最終答申を受け、家庭系ごみ減量化に向けた「海老名市家庭系ごみ減量化基本方針(案)」を策定しました。同基本方針(案)に対するパブリックコメントと住民説明会で寄せられた主な意見、市の考え方をお知らせします。

パブリックコメント

▼実施期間 7月11日～31日

住民説明会

▼実施日 7月14日・20日・29日、8月9日・11日

▼参加者 662人

意見数 149人/548件

有料化

有料化実施前にやるべきことがあるのでは？

A 市では今までさまざまな減量化策を講じてきましたが、これまでの減量化策だけでは、これ以上の減量化は難しいと考えています。「ごみの減量」に対する市民一人一人の意識の向上などが必要となることから、減量化効果がある有料化を目指すものです。

有料化は税の二重取りになるのでは？

A ごみ処理は地方自治法で手数料を徴収できる事務で、その範囲は「合理的な裁量に委ねる」とされています。手数料を1袋112円とした場合、手数料の収入はごみ処理経費全体の約17%と試算しており、裁判例で示される「合理的な範囲内」であることから、税の二重取りには当たらないと判断しています。

戸別収集

戸別収集はコストが増えるのでは？

A 戸別収集により収集の経費は増加します。ただし、今後の高齢化への対応として、ごみ出しへの負担軽減策は必要と考えます。今後、収集の体制や頻度については、必要なコストを考慮した上で詳細な制度づくりを行っていきます。

その他

ごみが増えたのは人口の増加が原因ではないか？

A 一般的には人口の増加により、ごみ量は増加しますが、平成26年度までは人口が増加しながらも家庭系ごみは減量が図られていました。しかし、それ以降は増加傾向で、これまでの減量化策だけでは、これ以上の減量は難しいと考えています。市民一人一人の「ごみの減量」に対する意識向上が望め、減量化効果がある有料化を目指すものです。



共同でごみを処理している座間市・綾瀬市と一緒に実施するべきでは？



A ごみの減量化は3市共通の課題です。減量化の手法は各市で検討し、実行しています。海老名市は減量化策を考える中で、有効な手法として有料化・戸別収集を目指すこととしました。海老名市はごみ焼却施設の所在市でもあり、率先して減量を図る必要があります。その取り組み状況は2市へ情報提供します。

事業系ごみについても対策を行うべきではないか？

A まちのにぎわいなどによって、事業系ごみも増加しています。この削減も必要なことから、事業系ごみの減量化策について環境審議会で審議を行っています。

さらなるごみの減量化に向け、市民の皆さんのご理解とご協力をお願いします。

